

岩手から支援の恩返し

同じ「被災地」思い

寄付、募金の輪広がる

甚大な土砂災害に見舞われた広島市を支援する動きが本県で広がっている。東日本大震災で被災した大船渡市や陸前高田市、宮古市は、家の片付けなどに必要なタオルの発送や募金活動を展開。遠野市の市民団体は、イベントの売上金などの寄贈を決めた。関係者は遠く離れた被災者に心を寄せ、これまで受けてきた恩返しのため汗を流す。

大船渡市小中学校長 掛け、22日までに44
会(会長・金野健日頃 62枚が寄せられた。
市中学校)は、市内の 市教委を通じ、週明け
小中学校20校で各家庭にも現地に送る予定
にタオルの提供を呼びだ。

同市猪川町の会社員
及川龍徳さん(29)はソ
ーシャル・ネットワー
キング・サービス(S
NS)で支援を呼び掛



広島市へ送るタオルや水などの支援物資を箱詰めする
(左から) 及川龍徳さんと熊谷真さん。東日本大震災で
受けた支援の恩返しの思いを込める。22日、大船渡市

けた。同市赤崎町の自
営業熊谷真さん(38)と
荷物をまとめ、同日は
タオルやペットボトル
の水などを現地に送っ
た。及川さんは「震災
後にできたつながりに、
本当に血が通って
いると感じた。今後も
ニーズを見極め、恩返
しをしたい」と力を込
める。

陸前高田市で津波到
達点への桜植樹活動を
展開し、震災の教訓を
全国に発信している認
定NPO法人桜ライン
311(岡本翔馬代表)
は同日、義援金の募集
を始めた。

市内の飲食店など約
10カ所に募金箱を設
置。活動には広島県か
らも寄付や植樹ボラン
ティアの支援を受けて
おり、佐藤一男副代表
は「震災では広島から
もとてもお世話になっ
た。陸前高田からも少
しでもお返しをした
い」と協力を呼び掛け

を呼び掛ける。
遠野市の市民団体
「ねまるべ遠野」(高
宏美鈴代表)は31日に
同市新穀町の遠野駅前
広場で初開催する「遠
野蚤の市」のチャリテ
ィーバザーの売上金な
どを支援金として広島
に贈る。高宏代表は「す
ぐに駆け付けることは
できないが、自分たち
にできることから取り
組む」と誓う。
県共同募金会は22
日、義援金募集を開始。
宮古市は25日から市役
所本庁舎などに募金箱
を設置し、市民に協力

を呼び掛ける
◇ 桜ライン3
援金振込口座
行高田支店
・普通206
口座名義・
利活動法人桜
11 カナ・
サクライン
イチ
県共同募金
金はゆうちょ
け付け。口座
2380-6
0、名義は社
人岩手県共同
通信欄に「広
金」と記載す

2014年8月23日 岩手日報